

令和5年10月25日

保護者様

横浜市立下末吉小学校
校長 江口 和良

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についてのお知らせ

今年4月に全国の小学校6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご報告します。

今回の調査結果を受け、お子さん一人ひとりが力をさらに高めていけるように、今後も教育活動を行ってまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分理解した受け止め方をいただけるようお願いいたします。

1 今年度の調査結果の概要

(1)教科別学習状況調査結果(網掛けは全国平均を上回った内容です。)

<国語>(一部抜粋)

分類		○全国平均を上回り、よい状況と考えられる内容 ▼全国平均を下回り、指導・改善が必要と考えられる内容	本校 (%)	全国 (%)	
全体			67	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技法	言葉の特徴や使い方に関する事項	▼漢字を文の中で正しく使う ○日常よく使われる敬語を理解している	67	71.2
		情報の扱い方に関する事項	○原因と結果など情報の関係を理解している ○情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句の関係の表し方を理解して使うことができる	75	63.4
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	▼必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える ▼目的に応じて話の内容を捉え、自分の考えをまとめる	65.6	72.6
		書くこと	○図表やグラフなどで自分の考えが伝わる表し方を工夫する	33.3	26.7
		読むこと	○中心となる語や文を見つけて要約することができる ○目的に応じて、文や図表から必要な情報を見付ける	71.1	71.2

<算数>(一部抜粋)

分類		○全国平均を上回り、よい状況と考えられる内容 ▼全国平均を下回り、指導・改善が必要と考えられる内容	本校 (%)	全国 (%)
全体			60	62.5
学習指導要領の領域	数と計算	▼日常生活の場面を解釈し、式や答えを言葉で記述し、その結果が条件に当てはまるか判断できる ▼足し算と掛け算が混じった計算をしたり、分配法則をもちいたりすることができる	62.8	67.3
	図形	○台形の意味や性質を理解している ○正三角形の意味や性質を理解している	54.2	48.2
	変化と関係	○伴って変わる二つの数量について、表から変化のとくちょうを読み取り、必要な数を求めることができる ○百分率で表された割合を理解している	70	70.9
	データの活用	○「以上」の意味を理解し、表から必要な数を読み取る ○二次元の表から条件に合う数を読み取る	52.2	65.5

(2)質問紙調査で「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が全国平均を上回っていったもの(一部抜粋)

質問内容	本校%	全国%
人が困っているときは、進んで助けていますか	96.8	91.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100	96.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.8	95.9
学校に行くのは楽しいと思いますか	96.8	85.3
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	77.8	76.5
友達関係に満足していますか	93.5	90.3
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.2	57.8
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	93.5	76.8
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	87.1	72.5
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	93.5	78.1
学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.7	95.1
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	90.3	78.8
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	96.7	82.9
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	96.7	81.9
英語の勉強は大切だと思いますか	100	91.3

2 今後の取組について

国語・算数の両教科において、多くの調査項目で全国平均を下回っていることから、学力向上は引き続き本校の最優先課題だと考えています。その中で、昨年度に続き横浜市教育委員会のチーム学年経営推進校として3年生以上で算数専科を実施したり、GIGA 端末持ち帰り試行校の指定を受け、日々の授業や家庭学習で積極的にタブレットを活用した学習を取り入れたりして、子ども達の学力向上の手だてを継続的に探り、学校での日々の授業改善を図っています。

一方で、仲良しグループ(たてわり活動)や外部講師による出前授業、集会や行事での異学年交流、地域行事への参加など、本校では、「人との交流」を教育活動に積極的に取り入れています。質問紙調査の結果からは、それらの取組が、本校児童の自己肯定感やコミュニケーション能力、問題解決意欲の向上などにつながっていることを実感しています。

今後も、下末吉小学校とそこで学ぶ子ども達のよさや強みを大切にして、子ども達が未来をたくましく、しなやかに生きていく力を身に付けられるよう、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。